

におこえ 鳩の声

彦根市立図書館 図書館だより



Vol.28 2023年2月発行

城の町 かすかに鳩の こゑはして ゆきのひと夜の 朝明けんとす —木俣修—



2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				



3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館時間：10：00～18：00

休館日：



図書館のおはなし 第5話 ～特別整理期間のおはなし～

当館では、毎年2月に特別整理期間のため休館します。

今年は2月11日（土・祝）から23日（木・祝）

までです。

休館中、館内では、職員が蔵書の点検を行い、本が正しい位置にあるか確認したり、雑誌を保存期間に合わせて整理したりします。また、本棚の掃除や、掲示物の貼り替え等を行います。

今回は、館内修繕工事も併せて行うため、長期の休館になりますが、ご理解くださいますよう、お願いいたします。

○ 今月の展示

【がんと向き合う週間関連展示 2/10（金）まで（健康推進課共催）】

2月4日～2月10日の「がんと向き合う週間」に合わせて、どんな病気なのか、予防するにはどうすべきか等、がんについて知ることができる本を集めています。

【防災・震災関連展示 2/24（金）～3/12（日）まで】

2011年3月11日に東日本大震災が発生しました。防災を考える際に参考になる本や、地震の被害と復興の状況に関する本を展示します。

2月10日（金）まで、
15冊（予約本を含む）借り
ていただけます。

休館期間中のご返却はブックポストをご利用ください。

たちばな号は通常通り

運行します。



新刊図書からのイチオシ！



『アザラシ語入門 水中のふしぎな音に耳を澄ませて』

水口 大輔||著 京都大学学術出版会

489.5 ミ

「お化けの出る音」「宇宙船の音」「人魚の歌」……どんな動物の声を聞いて表現した言葉が分かりますか？正解は、アザラシの鳴き声です。ちなみに当てられた人はほとんどいなかったそうです。

そんな「アザラシ語」ですが、水中で生きる動物のため、録音ができても音の主を見つけ難く、また、継続して観察することも困難なため、ほとんど何も分かっていませんでした。著者は複雑で多様な声の解明に向け尽力しますが、陸地で動かないアザラシの観察に悩んだり、水中マイクを噛まれたり、船酔いになったり等、研究にはたくさんの苦勞がつきまといまいます。

写真も豊富で、実際にアザラシを調査するってどんな感じなのだろうという疑問にもこたえてくれる、興味深い一冊です。ぜひご覧ください。



司書のイチオシ！



『目でみる日本史』

岡部 敬史||文 山出 高士||写真 東京書籍

210.0 オ



本書は、史跡・博物館等から歴史を感じるのではなく、歴史上の人物が見た風景を見るという発想で作られた日本史の本です。街並みは日々変わっていきませんが、山や自然の風景、場所と場所をつなぐ距離は変わることはありません。この本を見て、当時の歴史上の人物と同じ目線でその風景を見ることが出来ます。

例えば岐阜城天守から信長が見た眺めは、北には日本アルプスの山々、南には広大な濃尾平野、眼下には豊かな長良川を見ることができ、彼がこの地に居を移してから天下統一という意識を抱いたというのにも納得できるなあとと思うのです。彦根ゆかりの石田三成が見た（であろう）風景もあり、もし興味をそそられる場所があれば、現地に行ってその人の目になり、追体験して歴史を身近に感じてみてください。



新しくはいった本



☆新しくはいった本の中から抜粋して掲載しています。貸出中のものは予約ができます。
 ホームページでは、すべての新刊情報を掲載しています。ご不明な点は職員までおたずねください。
 TEL:0749-22-0649 HP: <https://library.city.hikone.shiga.jp/>

	タイトル	著者名	出版者	請求記号
情報・生き方	世界のヘンな研究	五十嵐 杏南 著	中央公論新社	002 1
	コンピュータはなぜ動くのか 第2版	矢沢 久雄 著	日経 BP	007.6 ヤ
	真野先生。本が傷んだら修理するだけじゃダメってホント?	真野 節雄 監修 DB ジャパン 編集	DB ジャパン	014.6 シ
	美しい本屋さんの間取り		エクスナレッジ	024 ウ
	ひと目でわかる哲学のしくみとはたらき図鑑	川口 茂雄 日本語版監修	創元社	100 ヒ
歴史・地理	歴史を拓いた明治のドレス	吉原 康和 著	G.B.	210.0 ヨ
	古代ギリシア人の 24 時間	フィリップ・マティザック 著	河出書房新社	231.4 マ
	日本の家紋とデザイン	濱田 信義 編著	バイインターナショナル	288.6 ハ
	世界の家の窓から	主婦の友社 編	主婦の友社	290.8 セ
	シベリアのビートルズ	多田 麻美 著	亜紀書房	292.9 タ
社会・福祉	中国パンダ外交史	家永 真幸 著	講談社	319.2 イ
	はてなの国際法	岩本 誠吾 著 戸田 五郎 著	晃洋書房	329 イ
	SDGs 辞典	渡邊 優 著	ミネルヴァ書房	333.8 ワ
	フリーランスがインボイスで損をしない本	原 尚美 著	日本実業出版社	336.9 ハ
	我々はどこから来て、どこにいるのか? 上・下	エマニュエル・トッド 著	文藝春秋	362 ト
	「ヤングケアラー」深層へのアプローチ	加藤 雅江 著	本の種出版	369 カ
自然・健康	バウムクーヘンの文化史	三浦 裕子 著	青弓社	383.8 ミ
	世界を支えるすごい数学	イアン・スチュアート 著	河出書房新社	410.4 ス
	新種発見!	馬場 友希 編著 福田 宏 編著	山と溪谷社	461 シ
	絶滅してない!	宗像 充 著	旬報社	482.1 ム
	ウォンバットのうんちはなぜ、四角いのか?	高野 光太郎 著	晶文社	489.3 タ
	完全人体図鑑	トーマス・O.マクラケン 編著	ニュートンプレス	491.1 マ
	目で見てわかる認知症の予防	秋下 雅弘 監修	成美堂出版	493.7 メ
暮らし	公衆衛生の倫理学	玉手 慎太郎 著	筑摩書房	498 タ
	針がいらないうとまき花	PieniSieni 著	日本ヴォーグ社	594.8 ヒ
	のせて焼くだけ。毎日のオープンレシピ	市瀬 悦子 著	ワン・パブリッシング	596 イ
	日本を味わう 366 日の旬のもの図鑑	暦生活 著 清 絢 執筆	淡交社	596 ニ
	ええかげん論	土井 善晴 著 中島 岳志 著	ミシマ社	596.0 ト
	ワタナベマキのいまどき乾物料理	ワタナベ マキ 著	NHK 出版	596.3 ワ
	あんこのお菓子 新版	金塚 晴子 著	マイナビ出版	596.6 カ
火・空気・水で極める焼き菓子	津田 陽子 著	化学園文化出版局	596.6 ツ	

	タイトル	著者名	出版者	請求記号
産業・通信・園芸	英語の技術文書	中山 裕木子 著	研究社	507.7 ナ
	日本全国タイル遊覧	吉田 真紀 著	書肆侃侃房	529 ヨ
	織物の世界史	ソフィ・タンハウザー 著	原書房	586.0 タ
	珍奇植物ハビタットスタイル	Shabomaniac! 著 河野 忠賢 著	日本文芸社	627.7 シ
	小さな庭のスタイルブック	the Farm UNIVERSAL CHIBA 監修	家の光協会	629.7 チ
	短いのに感じがいいメールが悩まず書ける本	亀井 ゆかり 著	日本実業出版社	670.9 カ
芸術・音楽・スポーツ・ことば	超絶技巧の西洋美術史	池上 英洋 著 青野 尚子 著	新星出版社	723.3 イ
	消しゴムはんこのアイデアと技法	江口 春畝 著	日貿出版社	736 エ
	ゼロから分かる!知れば知るほど、面白いジャズ入門	後藤 雅洋 監修	世界文化社	764.7 セ
	市民オペラ	石田 麻子 著	集英社	766.1 イ
	グラブ職人	岸本 耕作 著	ベースボール・マガジン社	783.7 キ
	75パターンで身につける英語の気づかい・丁寧・敬語表現	津村 元司 著	ベレ出版	837.8 ツ
日本の小説	植物少女	朝比奈 秋 著	朝日新聞出版	F 77
	まあたらしい一日	いしい しんじ 文	BL 出版	F 19
	彼女のことを知っている	黒川 創 著	新潮社	F 71
	兜町の男	黒木 亮 著	毎日新聞出版	F 71
	きみが忘れた世界のおわり	実石 沙枝子 著	講談社	F 71
	踏切の幽霊	高野 和明 著	文藝春秋	F 71
外国の小説	オーバースペック	未須本 有生 著	イカロス出版	F 71
	一日三秋	劉 震雲 著	早川書房	923.7 リ
	わたしのペンが鳥の翼	古屋 美登里 訳	小学館	929.98 ワ
	ウィンダム図書館の奇妙な事件	ジル・ベイトン・ウォルシュ 著	東京創元社	933 ハ
その他文学	シェリ=ビビの最初の冒険	ガストン・ルルー 著	国書刊行会	953 ル
	古典モノ語り	山本 淳子 著	笠間書院	910.23 ヤ
	Jason Fourthroom	舞城 王太郎 [著]	ナナロク社	911.56 マ
	森の来訪者たち	ニーナ・バートン 著	草思社	949.84 ハ
カレル・チャペックの見たイギリス	カレル・チャペック 著	海山社	989.55 チ	

◎ご来館の際は、コロナ対策にご協力ください。

- ・入館時の検温
- ・必要に応じたマスクの着用
- ・手指の消毒

